

8 月 定 例 教 育 委 員 会 会 議 録

- 1 開 催 日 令和5年8月3日（木）
- 2 開 催 場 所 新館9階 191 会議室
- 3 出席した委員 小南教育長、溝口委員、播委員、坂元委員
- 4 出席した職員 桐山教育指導部長、
稲岡教育総務部次長、杉本教育指導部次長、
松尾教育指導部学校教育担当参事、
福本教育総務課長、真鍋学校教育課長、
城学校教育課副課長、竹内教育総務課管理調整係長
- 5 傍 聴 者 11 人
- 6 議 事 の 要 旨
 - 開 会 午後1時30分
 - 会議録署名委員指名のこと
委員に決定
 - 会議公開の可否決定のこと
すべての議事を公開することに決定

(協議事項)

1 令和6年度使用義務教育諸学校教科用図書の採択について
(教育指導部参事から説明)

- ・小学校(義務教育学校前期課程)用教科書について

【道 徳】 東京書籍の教科用図書を採択することに決定

教 育 長 : 委員の皆さまには、順番にご意見をお願いしたい。

委 員 : 小学1年生の教科書を見ると、国語と算数については比較的文字数も少なく、丁寧なつくりをされている。片や道徳の教科書は、読み物としては非常によいが、文字の大きさや量などは考慮が必要だと感じる。

また、表紙についてはいずれの教科書もハンディキャップがある子どもや外国籍の子どもたちの表現が見られなかった。

この中では、光村図書が一番バランスがよいと感じる。日本文教出版はノートを付けているが、プリント配付の代わりになるのであればよいと思う。光文書院は、やや教材が多いと感じる。1年生の導入に関しては、東京書籍が一番分かりやすいと感じた。

委 員 : 基本的には選定委員及び調査委員からの推薦図書でよいと考えているが、東京書籍の表紙ともくじの背景色に少し違和感を覚えた。道徳という科目を子どもたちと一緒にどう考えていくのか、あるいは何を伝えるのか、という視点が重要だと考える。

そうした点から、光文書院がイラストや内容で優れていると感じた。ただ、現場感覚も重要だと考えるので、最初に申し上げたように推薦された図書でも異論はない。

委 員 : 東京書籍と光村図書が優れていると感じた。どちらもよくまとまっており、光村図書のコミュニケーションの取りかたの記載がよい。

昨今、子どもたちがコミュニケーションを取りづらい環境の中にあって効果的であると考えます。

ただし、全体的なバランスや印象では、東京書籍が一番優れていると感じた。

教 育 長 : ここで、本日欠席の欠席委員の主だった意見を紹介する。東京書籍については、道徳を広く捉え「気づき」という道筋を見つけやすい構成になっている。光村図書については、「みんな生きている、みんな生きている」という全学年共通している言葉が印象的である。日本

文教出版については、各学年にノートがついている。高学年では非常に適した内容となっている、といった肯定的な意見があった。

選定委員会では、東京書籍を推す声と日本文教出版を推す声があったとのこと。調査委員会では、東京書籍と光村図書が同等の評価を得ている。

各委員の意見でも、東京書籍、光村図書、日本文教出版、光文書院について一定の評価を得ていたと解する。その中でも東京書籍に対する評価が高かったと考える、それ以外でご意見があればお願いしたい。

委員：現場で使いやすい教科書という視点も重要なので、東京書籍でも構わない。ただし、教科書のサイズや文章量は気になる。感染症対策についての記述も本来道徳では必須ではないと考えるため、実際に授業を行う先生方の創意工夫に期待したい。

教育長：委員から肯定的な意見が一番多かったのは、東京書籍であると判断する。

事前の意見でも、題材のバランスがよく、様々な内容について考えることができる。伝統や文化に関する教材が多く、内容が充実している。二次元コードによりデジタルを活用して学習の足跡を残しやすくなる。といった評価を得ている。こうした視点から、東京書籍を採択するということによろしいか。

各委員：（異議なし）

教育長：「道徳」については、東京書籍を採択することに決定する。

【外国語】東京書籍の教科用図書を採択することに決定

教育長：委員の皆さまのご意見をお願いしたい。

委員：最初の印象としては、東京書籍、開隆堂、啓林館が好印象であった。ただ、東京書籍については、内容も充実しており素晴らしいが、小学生が学ぶ内容としてはレベルが高いように感じた。小学校段階で苦手意識を持つことのないよう配慮が必要である。開隆堂については、身近なものを取り上げ、反復する内容なので、外国語に馴染みやすいのではないかと感じた。啓林館については、見たり聞いたりすることと、自分でやってみることがはっきり分かれているので、今何をしているのかということが理解しやすいのではないかと感じた。

委員：外国語は、子どもたちの中で理解度に大きく差が生じる科目ではな

いかと考える。そういった中で、視覚に働きかけ興味をひくことが重要であるため、東京書籍の動画コンテンツ、開隆堂が写真を多く使用している点などはよいと思う。

中学生の学力テストでは、成績があまり振るわなかったことから苦手意識をもった子どもが相当数存在するのではないかと考え、教育出版のようなシンプルな内容の教科書も選択肢の一つではないか。

ただ、継続性という観点からみると、教える側も習熟されている東京書籍がよいのではないかと考える。

委員：子どもたちに興味を持たせるという観点からは、東京書籍、開隆堂がよいのではないかと考える。また、光村図書の見開きに外国語の学び方がシンプルに分かりやすく記載があり、こうしたものも選択肢としてみてもよいのではないか。

外国語は、学び始めの段階で子どもたちの間にもものすごいギャップがあるように思う。外国語に馴染みのない子どもたちが楽しく学んでいけるような視点は大切だと思う。一長一短あるが、教科書へ書き込んで学ぶことを考えると東京書籍の余白部分は書きやすいし、開隆堂については、教科書の紙質が非常に書きやすそうに感じた。

教科書が現場でしっかり使用されることが、子どもたちが外国語を苦手にならないための一番のカギだと思うので東京書籍を継続して使用することも一つの方法だと考える。

ただし、教え方については、工夫が必要であると考えます。

教育長：欠席委員からは、東京書籍については、別冊のワードブックが使いやすく、繰り返し練習ができてよい。開隆堂については、ワードブックが付いているという肯定的な意見とQRコードから学ぶことは自宅では難しいのではないか。光村図書については、キャラクターやQRコードが特徴的で分かりやすい。啓林館については、各ステップのアクティビティは外国語を身近に感じることができるが、発音のスピードが不自然にゆっくりしている。という意見があった。

選定委員からは、東京書籍が推薦されている。調査員からも東京書籍について一番推薦者が多く、開隆堂、啓林館が続くという状況である。

委員からは、東京書籍の内容は難しいのではないかと意見があった。選定委員の意見では開隆堂は文章量が多く、外国語が得意不得意の差が出やすいのではないかと、といった意見もあった。また別の委員からは、子どもたちの多くが外国に苦手意識を持たず、授業に臨むためには、継続性という観点も重要である、といった意見もあった。

そうしたことから、東京書籍や中学で使用している開隆堂が有力な候補として挙げられているように思う。

ここまでの意見などを鑑み、改めて委員の皆さまのご意見をお願いしたい。

委員：悩ましいところではあるが、内容的には素晴らしいと思うし、皆さんの意見に対して反対することもないため、東京書籍でも構わない。

教育長：他の委員は東京書籍を一番に挙げておられますが、東京書籍を採択するという事によろしいか。

各委員：（異議なし）

教育長：「外国語」については、東京書籍を採択することに決定する。

【体育（保健）】光文書院の教科用図書を採択することに決定

教育長：委員の皆さまのご意見をお願いしたい。

委員：東京書籍、光文書院は、思春期の体の変化や薬物乱用についての記述が優れていると感じた。強いて言えば、一番は光文書院、次に東京書籍がよいと考える。

委員：小学校5、6年生になると、飲酒、薬物、喫煙などについて、受け止める力は備わってきていると思うので、小学校の段階から具体的に事例や写真を用いて何度も繰り返し学ぶことが重要だと考える。そうした視点や思春期についても分かりやすく整理され、子どもたちでも理解しやすくまとめられていると考えるため、光文書院を推す。

なお、運動面については、他社の方がよくまとめられている印象だが、飲酒、薬物、喫煙といった健康に関する部分を重視したいと考える。

委員：学習の段階を4段階に分け、順序立てた学びを構築されていることから、子どもたちが学びを深めるのに非常に役立つと考えるため、東京書籍が一番よいと思う。先の委員の意見を伺っていると、飲酒、薬物、喫煙などのテーマでの印象度については、光文書院が優れているとも感じる。

教育長：欠席委員からは、東京書籍については、「気づく・見つける」から「調べる・解決する」、「深める・伝える」「まとめる・活かす」の4段階に構成されている。光文書院については、「話し合おう」のコーナーがあり、自分事として取り組めるといった肯定的な意見があった。

選定委員からも東京書籍と光文書院が推薦されており、調査員についても光文書院が一番目に、東京書籍が二番目に推薦されており、高い評価を受けている。

私も薬物の乱用や飲酒といった事柄や性差が生じる時期ということからも、思春期における体の成長について、多様性の観点をもって理解できることは重要であると考えます。そういった観点からも東京書籍、光文書院共に優れていると感じました。この2社で優劣をつけるとすればどういったところかという観点で、改めて委員の皆さまのご意見をお願いしたい。

委員： 現在、光文書院を使用しているという継続性という意味からも光文書院がよいのではないかと。

委員： 重視したい事柄については、光文書院の方が優れていると考える。

委員： 甲乙つけがたいが、継続性のことを考えると光文書院の方がいいように思う。

教育長： それでは、体育（保健）については、光文書院を採択するというところでよろしいか。

各委員： （異議なし）

教育長： 「体育（保健）」については、光文書院を採択することに決定する。

【生活】東京書籍の教科用図書を採択することに決定

教育長： 委員の皆さまのご意見をお願いしたい。

委員： 東京書籍や啓林館は、1年生の導入が充実しており、全体的に構成が分かりやすく、文字等の配分が良いと感じました。

光村図書は図鑑が外で使用しやすいと感じたのと、うまくいかないことのつづやきが載っているのは、1年生でも分かりやすいのではないかと感じた。一番見やすく、継続性の観点から東京書籍を推す。

委員： 障がいのある人や外国人に対する配慮といった点が充実し、背伸びをせず様々な問題に対して子どもたちなりに考えることができるのではないかとという点で教育出版が好印象であった。東京書籍は、写真よりイラストが多く用いられている印象である。個人的には、実際に子どもたちが活動している写真の方が状況の理解がしやすいと考えるため、教

育出版の方が好印象であった。

委員：1年生から取り組むスタートカリキュラムとして充実していると感じたのは、東京書籍と啓林館である。東京書籍は、デジタルコンテンツが豊富で興味を持って取り組めるのではないかと感じた。啓林館は、兵庫県が取り上げられており、地域への興味関心が持てるのではないかと感じた。強いて言えば、東京書籍が一番優れていると考える。

教育長：欠席委員からは、東京書籍については、全体的にバランスが取れているように思う。教育出版については、「わくわくスイッチ」での動機付けは学習者が分かりやすく工夫されている。光村図書については、イラストが可愛らしく絵本のように取り組みやすい。啓林館については、多くの生き物が掲載されている、といった肯定的な意見があった。

選定委員からは、東京書籍、啓林館が推薦されている。調査員からも東京書籍及び啓林館が評価をされている。

各委員の意見は分かっていたため、改めて委員の皆さまのご意見をお願いしたい。特に東京書籍のイラストの使い方が気になるということは貴重な意見かと考える。

委員：例えば、「新しい生活（上）」の48、49ページに「なつのことをつたえよう」とあるが、48ページの「なつのおすすめはなにかな」ということで写真が掲載されている。49ページには実際に教室で活動されている場面が掲載されており、イラストになっている。ここを比べるとイラストより写真の方が、現実感があり説得力があるように感じる。このように重要なポイントになるような箇所がイラストになっているところに違和感があった。

教育長：重要なポイントについて、簡略化しているのではないか。もう少し力点を置いて作るべきではないか。写真と比較するとイラストは訴求する力が落ちてしまうのではないかとといった意見であったが、この意見を踏まえ他の委員のご意見をお願いしたい。

委員：実際に教室で話し合いをしながら授業を進めていく場面では、写真による大きな訴求力がなくてもよいかもしれない。全体的なバランスを図り、背伸びしすぎずに興味を持てるという点での良さは東京書籍にあると感じた。

委員：写真とイラストの良し悪しは個人差もあると考える。

教育長：一定量のイラストを入れているのは、先の委員の話にもあったように、障がいのある人や外国人を含めてみんなと一緒に活動しているという姿を表現したかったのではないかと推察する。そういった場面を写真で映し出すということは難しいかもしれないし、教科書の作り手の思いを込めるにはイラストの方が表現しやすかったのではないかと考える。

例えば、写真やイラスト以外で東京書籍での問題点があれば伺いたい。

委員：私個人の感覚では違和感があったが、感じ方はそれぞれ異なると思うので、採択を反対するものではない。逆に、東京書籍は最後の「生き物図鑑」は非常にまとまっているので、使いやすいと思っている。

教育長：それでは、生活については、東京書籍を採択するという事によろしいか。

各委員：（異議なし）

教育長：「生活」については、東京書籍を採択することに決定する。

【算数】啓林館の教科用図書を採択することに決定

教育長：委員の皆さまのご意見をお願いしたい。

委員：東京書籍は、1年生で数を数える単元でアサガオの種を用いていたが、小さくて見にくいと感じた。また、5年生のみ上下巻に分かれており、なぜ5年生だけ分けたのか違和感を覚えた。日本文教出版は、3年生以降にプログラミングのページを積極的に設けていて、理解を深めるきっかけになっている。啓林館は、全ページにQRコードが付いており、図も大きくて、まとめのページも効果的で利用しやすい。今挙げた教科書はどれも算数をしっかり学んでいける教科書になっている。強いて選ぶとすれば啓林館がよいと考える。

委員：東京書籍は思考力を問う問題が多く、それが考える力の発達に効果的であると考え。啓林館や日本文教出版は、プログラミング等のデジタルコンテンツが充実しており、分かりやすい教科書である。その中で、強いて選ぶとすれば啓林館がよいと考える。

委員：啓林館は、1年生の導入のところで非常に分かりやすく、少し昔ながらかもしれないがよいと感じた。

繰り上がりの筆算の数字の書き方が会社によって異なっており、様々な考え方が紹介されているものもある。様々な考え方に触れることは重要だが、インプットが少ないときには咀嚼しきれない子どもたちもいるのではないかと考える。そうした点からも啓林館がよいと感じた。

また、東京書籍は表紙のデザインが算数と結びつき、好印象である。学校図書の6年生向けの冊子や大日本図書の表紙もよいと感じた。

教育長： 欠席委員からは、東京書籍は、学年の始まりやマイノートのページで実施される繰り返しは大切なことであり、「覚えているかな」のページ下も有意義である。啓林館は、スタートブックが使いやすいと思う。色のトーンが落ち着いており、好感が持てる。日本文教出版は、表紙がカラフルで、プログラミングのページが全学年にあるのが好印象である、といった意見があった。選定委員からは、啓林館が一番、次に東京書籍、日本文教出版が推薦されている。調査委員からも、啓林館が一番、次に東京書籍、日本文教出版が推薦されている。

今回の全国学力・学習状況調査で形の異なる三角形の面積を比べる問題について、底辺と高さが同一であることから、答えとしては当然「同じ」となるわけだが、正答率は20%程度と全国的にみても非常に低い数値になっている。なぜこのように低い正答率となるのか疑問に思い、前出の3社の教科書の該当箇所を確認した。そうすると、各教科書とも底辺と高さがはじめから示されており、今回正答率が低かった問題は高さが示されていなかった。こうしたことから、本質的な三角形の面積の考え方の理解が進んでいなかった可能性がある。また、小学校の算数で私が一番気にしているのは、分数の割り算だが、教科書における考え方では3社とも同じような記載となっていた。

また、東京書籍だけが、小数点と分数が絡む計算式において、間違いやすい事例などが紹介されており、これは有益であると感じた。

しかしながら、教科書のボリュームと内容の分かりやすさなどを考慮して啓林館の教科書が優れていると考える。

それでは、算数については、啓林館を採択するというところでよろしいか。

各委員： (異議なし)

教育長： 「算数」については、啓林館を採択することに決定する。

【理科】 啓林館の教科用図書を採択することに決定

教育長： 委員の皆さまのご意見をお願いしたい。

委員：理科に関しては、教科書における写真の使い方は重要だと考える。
そうした観点から、東京書籍と啓林館の教科書について、写真がうまく配置されているという印象を受けた。東京書籍は、非常に興味を持ちやすい構成になっており、実験の説明も分かりやすく感じた。啓林館は、デザイン的にもよいと感じるし、予想、計画、考察の構成がよくできているとも感じた。肺の単元でECMOについても触れられている。ECMOは新型コロナウイルス感染症が流行していた際に非常に注目され有名になった。そうした最新のテクノロジーにも触れられている点からもよいと考える。

委員：東京書籍と啓林館が分かりやすく、実験の説明の仕方についてページの使い方も工夫されており、児童にとって身近なところを大事にしている印象を受けた。中でも普段の暮らしとリンクしているということやシンプルな分かりやすさという点では、啓林館が一番よいと感じた。東京書籍は、表紙の構成がよいことと安全面の説明が充実している点が評価できる。その他で言うと、大日本図書の科学者の紹介は面白いと感じた。学校図書では、写真がふんだんに使用されており視覚的な訴求力はあるかもしれないが、実験の結果が同じページに掲載されており、実験を行う前から答えが見えてしまうことで興味を削いでしまうことになるのではないかと危惧する。教育出版については、3年生の導入で生活との繋がりがうまくできていることと、人体に関して見やすく仕上げられている印象である。

委員：東京書籍、学校図書及び啓林館は、写真などの構成が分かりやすい。東京書籍は、4年生の教科書で各地の季節ごとの写真が掲載されており、非常に温かみのある印象を受けた。学校図書も写真が多く、効果的に使用されている印象を受けた。啓林館も写真の使い方が効果的であったのと、5年生の雲と天気の変化や6年生の人や動物の体といった学年に応じたテーマが充実している印象を受けた。そうしたことから、強いて選ぶとすれば啓林館が一番で、次に東京書籍といった印象である。

教育長：欠席委員からは、東京書籍については、巻頭と表紙の繋がりは工夫されている。「理科の世界探検部」は実生活と繋がっている。啓林館については、問題、観察、結果、まとめの道筋が示されているが、このために忙しく感じる、といった意見があった。選定委員からは、啓林館、東京書籍の順で推薦されている。調査員からも同様である。

各委員の意見とも揃っているため、理科については、啓林館を採択するということがよろしいか。

各委員：（異議なし）

教育長：「理科」については、啓林館を採択することに決定する。

【国語】光村図書の教科用図書を採択することに決定

教育長：委員の皆さまのご意見をお願いしたい。

委員：取り上げている物語や学年に合った取り上げ方などから、光村図書が一番よいと考える。導入箇所が一番丁寧に書かれており、読む、聞く、話すといった課題に取り組む際にも有意義である。文字も昔ながらのフォントで読みやすいと感じた。東京書籍については、バランスがよいと感じたが、巻末にある「まとめ」については分かりやすいと思う反面、授業で子どもたちがみんなと一緒に「まとめ」ができるような工夫も必要だと感じた。伝承的な日本の昔話などに子どもたちが授業以外で触れる機会が少なくなっているように感じるため、そのあたりも大切にしていかなければならないと感じている。

委員：教育出版については、文章のボリュームが多すぎるような印象を受けた。光村図書は、1年生（下）と2年生（上）で内容のレベルが急に上がるような印象を受けた。東京書籍についても1年生（下）のボリュームが多いような印象を受けた。しかしながら、光村図書は図書館の利用や季節感を大事にして作られている。東京書籍は、世の中がグローバル化、IT化していることを意識した内容となっている点はよいと感じた。

光村図書と東京書籍の2社は甲乙つけがたいが、「モチモチの木」の挿絵が光村図書の方がよいと感じるため、強いて選ぶとすれば光村図書を選択する。

委員：東京書籍については、「見通す、取り組む、振り返る」の構成が主体的学習に有用であると感じ、好感を持った。教育出版は、古典が充実している。光村図書は、四季折々の教材が非常に豊富で、日本の四季の美しさを感じることができ好印象であった。東京書籍、光村図書共に個性はあるものの、光村図書の方がよいと感じた。

教育長：欠席委員からは、東京書籍については、ほとんどのページがすっきりとしていて読みやすい。本の紹介に工夫があって手に取りたくなる。光村図書については、スピーチに関してのページがあり、話すこととスピーチは別物だと感じた、といった意見があった。選定委員からは、光

村図書が推薦されており、調査員からも光村図書が一番で、次が東京書籍となっている。

また、委員から事前に、3年生の教材として「ちいちゃんのかげおくり」は適切か、といったご意見をいただいている。私もこの意見と同じ印象を持っている。この件について、もう少し詳しくお話いただきたい。

委員：物語としてはインパクトがあり、印象に残りやすい題材だと考える。3年生くらいは非常に感受性豊かで捉え方にも差が生まれると感じ、事前意見として提出した。

教育長：非常に大切なご意見だと感じ、紹介させていただいた。非常によい題材であるものの、適切な配慮も必要となるということだと考える。

それでは、各委員の意見とも揃っているため、国語については、光村図書を採択するというところでよろしいか。

各委員：（異議なし）

教育長：「国語」については、光村図書を採択することに決定する。

【書写】東京書籍の教科用図書を採択することに決定

教育長：委員の皆さまのご意見をお願いしたい。

委員：東京書籍は手本が大きく分かりやすい。なぜその字を書くのかということも説明されており学習できる。光村図書は、SDGs についての記載に個人的には違和感があった。東京書籍が一番よいと考える。

委員：差別化がしづらい科目であるが、東京書籍は用具の大切さに触れている点が評価できる。光村図書は、SDGs についての記載が評価できると考えるが、他の委員の意見お伺いしたい。

委員：東京書籍、光村図書共に紙質がよいと感じた。教科書への書き込みといった手法を考えたときにこの点は評価できる。光村図書は1年生の最初の方は文字も大きく分かりやすい。東京書籍は、右利きと左利きの筆の持ち方を写真で掲載しており、この点は素晴らしいと考える。教育出版は、ノート書き方にも触れられており有用だと感じた。

全体を通して見たとき、国語の教科書とリンクしていることを考慮すると光村図書がよいと感じる。

教育長： 欠席委員からは、東京書籍については、3社の中で字形が一番好ましい。「美しい字を書けるように。」という目的に迷いが無い。光村図書はSDGsの考えや書写を大きく広げていくという姿勢があつて現代的だと思う、といった意見があつた。選定委員からは、光村図書が推薦されており、調査員からも光村図書が一番、次が東京書籍となっている。

こうしたことから改めて委員の皆さまのご意見をお願いしたい。

委員： 先生方に教え方を工夫していただき、子どもたちがオーバーキャパシティにならないければ、東京書籍の手本は美しいと感じる。光村図書は小筆の手本がたくさんあり、自分の名前を書くときに参考にしやすいと感じる。非常に甲乙つけがたい。

委員： 手本という観点からは、東京書籍の方がよいと感じる。

委員： 光村図書のSDGsに関するページを評価していたが、各委員のご意見を伺って書写で取り扱う必要もないと感じた。については、東京書籍が優れていると考える。

委員： 東京書籍には2年生に「いろは歌」があり、全員が昔からある素晴らしいものに無理なく触れられるというところは非常に魅力的である。美しい文字に触れるという観点からも、東京書籍の方がよいと感じる。

教育長： それでは、書写については、東京書籍を採択するというところでよろしいか。

各委員： (異議なし)

教育長： 「書写」については、東京書籍を採択することに決定する。

【社会】東京書籍の教科用図書を採択することに決定

教育長： 委員の皆さまのご意見をお願いしたい。

委員： 5年生で習う領土問題に関する記述で気になったところがある。東京書籍では、北方領土、竹島、尖閣諸島が領土問題で触れられている。尖閣諸島については、「中国が自国の領土であると主張していますが、日本が有効に支配しており、領土問題は存在しません。」とある。他社では「よく話し合つて決めなければならない。」などといった記述とな

っており、領土問題は非常にデリケートな問題であるため、このように「領土問題が存在しない。」と言い切ってしまうことは、子どもたちの考える機会という観点からもいかなものか。このワンフレーズを除けば、東京書籍が一番優れていると思う。

委員：どの教科書も子どもたちが自分で興味を持って学習できるような工夫はされていると感じた。東京書籍は、分野ごとに分冊にしているところや気候地形について分かりやすく書かれている。しかし、先の委員のご意見にあったように、デリケートで見解が分かれるような社会問題にここで初めて触れる子どもたちが多いと思う。近現代史は、昔は事実かどうかははっきりしなかったことが、分かってきていることもあると思うが、昔からの表現がそのまま使われていたり、主観的な表現がされている箇所には違和感を覚えた。そうしたことや、3年生で学ぶ身近な市のことに関する記述が優れていることから日本文教出版が一番よいと考える。

選定委員や調査員の評価はそうではないようなので、もし他社の教科書を選定する場合は、前出のようなことについて、教える際に十分注意してもらいたい。

委員：東京書籍の3年生の「新しい社会」でかなりの分量を「福岡県」が占めている。他市のことも多少触れられているものの、違和感を覚えた。教育出版の場合は、タブレットの積極的な利用を呼び掛けている。社会という教科は、授業の中や教科書の中だけでは得られない情報があり、学ぶツールの多様化を呼び掛けている点が評価できる。それから、図や写真の構成に統一感があって見やすい。実際に働いている現場の人の声をうまく反映しているという意味ではよいと思う。日本文教出版では、3年生で姫路市、4年生で岡山といった身近な地域を取り上げている。日本という火山列島という観点からも6年生で富士山の噴火を取り上げられている点や、感染症についても積極的に取り上げている点は評価できる。

教育長：欠席委員からは、東京書籍については、5、6年が分冊になっている。すっきりと読みやすいページが多い。教育出版については、文字の大きさに配慮されており読みやすい。日本文教出版については、本文と資料のバランスからか見づらく感じる箇所がある、といった意見があった。選定委員からは、東京書籍、日本文教出版が推薦されており、調査員からも東京書籍の評価が一番高く、次に日本文教出版となっている。

先に委員より指摘があった領土問題に関する記述について一つずつ触れたいと考える。各社の尖閣諸島に関する記述を読み上げる。東京書籍は、「東シナ海にある尖閣諸島は、日本固有の領土です。中国が自国

領土であると主張していますが、日本が有効に支配しており、領土問題は存在しません。」となっている。日本文教出版では、「東シナ海にある尖閣諸島は日本固有の領土で、その領有については問題がないにも関わらず、中国が自国の領土であると主張しています。」教育出版については、「沖縄県の尖閣諸島については、領土問題はないということが日本の立場ですが、中国も自国の領土であると主張しています。」となっている。書いている内容は類似しているものの、印象や子どもたちの受け止め方が大きく異なることは事実であると考えられる。

また、3年生での地域の取り上げ方にも差があるということも明らかである。

ただし、東京書籍の分冊している点については、各委員が評価しているところかと考える。

こうしたことを考慮し、改めて委員の皆さまのご意見をお願いしたい。

委員：過去より社会の教科書は、資料集を含んだような立派なものとなっていることからもしっかりした記述は必要であると考えます。そうしたことから日本文教出版、東京書籍のいずれかがよいと考えます。

委員：選定委員や調査員は教育の現場や生徒の実情をよくご存じだと考えるため、個人的にはその方々の意見を尊重することも必要だと考えます。

委員：先に申し上げたようにワンフレーズが気にはなるものの、東京書籍、日本文教出版のいずれかがよいと考えます。

教育長：私は、6年生の太平洋戦争の空襲での死者数について、3社が異なっていることが気になった。東京書籍では60万人、教育出版では20万人、日本文教出版では30万人となっている。改めて調べてみると数十万人から百万人くらいとなっており、教科書に掲載されている数値に差が生じるということに違和感を覚えた。そうしたことから「社会」を教えていくにあたっては、教科書に書いてあることがすべてではなく、そうした定まらない問題点をしっかり伝えていくことが教員には求められると考えます。

そうしたことも踏まえると、実際に活用する教員から選定されている選定委員や調査員の意見を尊重していきたいと考えます。

領土問題について、教育委員からの意見を付するという点で東京書籍を前提に考えることも一つかと考えるがいかがか。

委員：領土問題の記述や数値の差については、先生方にはしっかりと配慮し教鞭をとっていただきたい旨の但し書きを付してもらいたい。

歴史は、「変わらない」のではなく、見方が変わると「変わる」部分

も出てくる。そうした視点も忘れず、授業に取り組んでもらいたい。

教育長：子どもたちの将来に影響を及ぼす可能性があることを念頭に教鞭をとっていただくということを強く要望し、東京書籍を採択するということによろしいか。

各委員：（異議なし）

教育長：「社会」については、東京書籍を採択することに決定する。

【地図】帝国書院の教科用図書を採択することに決定

教育長：委員の皆さまのご意見をお願いしたい。

委員：いずれの教科書もかなり充実している。こうした教科書の統計数値は非常に有益であるため、先生方にはぜひ活用してもらいたい。東京書籍は世界の分野が充実しており、帝国書院は日本の内容が充実していると感じた。子どもたちには、身近な自分の国のことを知ってほしいと思うので、帝国書院がよいと感じた。また、地図の見やすさや分かりやすさについても帝国書院に利がある。

委員：情報量は東京書籍の方が多いが、色が濃くて少し見にくくなっている印象である。対する帝国書院は特集ページが作られており、見やすく感じた。地図帳の選定なので、地図自体が見やすい帝国書院がよいと感じた。

委員：帝国書院の方が分かりやすい印象を受けた。情報量に関しては、東京書籍に利があるものの、必要な情報は盛り込まれていると考えるため帝国書院でよいと考える。

教育長：欠席委員からは、東京書籍については、扉の世界地図は見やすい。帝国書院については、「広く見わたす地図」は、初心者には見やすい。といった意見があった。選定委員、調査員からは、帝国書院が推薦されている。

各委員の意見とも揃っているため、地図については、帝国書院を採択するということによろしいか。

各委員：（異議なし）

教育長：「地図」については、帝国書院を採択することに決定する。

【音楽】教育出版の教科用図書を採択することに決定

教育長：委員の皆さまのご意見をお願いしたい。

委員：教育出版については、オーソドックスに「音楽」という世界を形作る要因を過不足なく掲載している教科書だと感じた。教育芸術社については、音楽そのものや音を楽しむような雰囲気を感じる作りになっており、特色があるよい教科書だと感じた。ただ、オーソドックスに音楽の授業を展開するという観点から教育出版の方が教科書として適切であると考えます。

委員：リコーダーの導入について、教育出版の方が明瞭で分かりやすいと感じた。教育芸術社の方がボリュームがあり、著作権についても触れられているが、音楽を楽しんで学ぶという観点からそうしたことは、もう少し上級生の段階でよいと思う。

委員：曲を取り上げている数は教育芸術社の方が多い。音楽でも日本に関することは大切にしてもらいたいと考えるが、教育出版の方が曲の取り上げ方が分かりやすい。教育芸術社は楽譜や作曲などの専門的な要素が多いように感じた。みんなで学ぶ学校なので教育出版の方が使いやすいと考える。

教育長：欠席委員からは、教育出版については、3年生で初めて手にするリコーダーが楽しそうに描かれている。また、「君が代」の扱いに好感が持てる、といった意見があった。選定委員、調査員からは、教育出版が推薦されている。

各委員の意見とも揃っているため、音楽については、教育出版を採択するという事によろしいか。

各委員：（異議なし）

教育長：「音楽」については、教育出版を採択することに決定する。

【図画工作】開隆堂の教科用図書を採択することに決定

教育長：委員の皆さまのご意見をお願いしたい。

委員：開隆堂の方が、写真がきれいだと感じる。

図画工作はまず見るところから始まるので、ビジュアルは大事だと考える。共同作業の場面も多くあり好感が持てる。日本文教出版は、

マスクをしている子どもたちが掲載されている。これから複数年使用する教科書なので、その点に違和感を覚えた。

委員：開隆堂は、1年生で就学前の経験を活かしたような構成となっており分かりやすい。日本文教出版については、マスクのことが残念であるが、全体としては迫力ある写真も掲載されている。ただ、1年生には文字が小さく感じた。

また、色々な道具の説明も開隆堂では高学年になっても触れられており、よいと感じた。カッターの使い方に関しては、日本文教出版の方が大きな写真を使い、分かりやすい。

しかしながら、日本文教出版のマスクをしている子どもたちの写真については、もう少し現実に即して考えてもらいたい。今後何年も使うことを考えるとマスクがない方がよいと考える。こうしたことから開隆堂の方がよいと考える。

委員：開隆堂は、粘土細工をうまく教材に掲載しインパクトがある。「小さな美術館」のコーナーについては、さらに既存の作品を掲載してもよいと思う。日本文教出版にある「材料と用具の引き出し」というコーナーは参考になるためよい。全体的な評価としては、開隆堂の方が教科書としては使いやすいと考える。

教育長：欠席委員からは、開隆堂については、全体的に写真が美しい。「小さな美術館」の取り扱いに好感を持てる。日本文教出版については、マスクをしている写真が多いのは残念である、といった意見があった。選定委員、調査員からは、開隆堂が推薦されている。

各委員の意見とも揃っているため、図画工作については、開隆堂を採択するというところでよろしいか。

各委員：（異議なし）

教育長：「図画工作」については、開隆堂を採択することに決定する。

【家庭】開隆堂の教科用図書を採択することに決定

教育長：委員の皆さまのご意見をお願いしたい。

委員：東京書籍は、考えながらやってみるという点では、分かりやすい解説は有効。しかしながら、家庭科は、実際に物を作ったり料理をしたりする場面において、ページの区割りは少し使いづらく感じた。開隆

堂は、教科書として素晴らしい構成になっている。加えて見通しを立てて考えるとところも出てくるため、ページは多くなるが開隆堂の方がよいと考える。

委員：東京書籍は、過不足なく必要なことが説明されており、非常にオーソドックスな形で作られている。対して開隆堂は、さらに一步踏み込んで詳しく丁寧に説明されている。その分ページ数は多くなっているが、写真もたくさん使用されており、ポイントとなることもまとまっていることから、非常に使いやすくなっていると思う。そういう意味でも開隆堂の方がよいと考える。

委員：東京書籍は、インターネットでの買い物や消費者センターなどの記述があることは好印象であった。開隆堂は、非常に見やすく内容が分かりやすい。また、キャリアインタビューなどの単元で積極的にキャリアのことを学んでいくことは非常によいと考える。こうしたことから、開隆堂の方がよいと考える。

教育長：欠席委員からは、東京書籍については、解説に沿ったイラストや写真が分かりやすく構成されている。色にまとまりがあり見やすい。開隆堂については、3ステップのチェックは使い方差がつきそうである。写真等のまとまりがよい、といった意見があった。選定委員からは、開隆堂が1番で次が東京書籍となっており、調査員からは、開隆堂が推薦されている。

各委員の意見とも揃っているため、家庭については、開隆堂を採択するというところでよろしいか。

各委員：（異議なし）

教育長：「家庭」については、開隆堂を採択することに決定する。
この度、書写、社会、図画工作、家庭、道徳で採択替えとなった。
このことについて、事務局より説明をお願いします。

事務局：学習指導要領において、複数学年の指導内容が一体となっている教科書であって、教科書が学年別に発行されている教科書である国語、書写、音楽、英語、道徳については、第1学年と第2学年、第3学年と第4学年、第5学年と第6学年の内容がそれぞれ一体のものとなっている。このため、採択替えにより今年度と異なる発行者の教科書を使用することとなった場合、第1、第3、第5学年については採択変更後の発行者の新版教科書を使用し、第2、第4、第6学年については採択変更前の発行者の新版教科書を使用することとなっている。ただし、学

校図書の国語、学校図書の書写、日本文教出版の書写、学校図書の英語、学校図書の道徳、あかつき教育図書の道徳の教科書を今年度を使用している場合は、全学年について新たに採択した発行者の新版教科書を使用することと示されている。加古川市では、日本文教出版の書写、あかつき教育図書の道徳について該当するため全学年について、新たに採択いただいた発行者の新版教科書を使用することとしたいがよろしいか。

教 育 長 : 先ほどの事務局からの説明の内容で進めるということによろしいか。

各 委 員 : (異議なし)

・中学校用教科書について

教 育 長 : それでは、続いて中学校用教科書について事務局より説明をお願いします。

事 務 局 : 採択の基本方針において、中学校で使用する教科書は、令和4年度と同一の教科書を採択するとあることから、昨年度採択と、同一の教科書を採択することとしたいがよろしいか。

教 育 長 : 事務局からの説明の内容で進めるということによろしいか。

各 委 員 : (異議なし)

教 育 長 : 今後の事務の進め方について、事務局より説明をお願いします。

事 務 局 : 本日の協議結果に基づき、採択理由書案を事務局で作成する。その案についても、9月の定例教育委員会で協議いただく。

なお、採択に関する資料の公表については、採択期限終了後の9月1日以降にホームページで公表する予定としている。

教 育 長 : 委員の皆さまには、教科書採択に関する理由書について、次回の定例教育委員会で協議をお願いします。教科書採択については、以上である。

- 次期定例教育委員会予定日のこと

9月14日（木）午後2時から開催することに決定

- 教育指導部長諸報告

- (1) 「心の絆プロジェクト」児童会・生徒会代表者ミーティングについて

「心の絆プロジェクト」児童会・生徒会代表者ミーティングを8月21日（月）に加古川市民会館小ホールにおいて開催する。

以上、1件について報告

- 閉 会 午後4時51分